

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名 『予後予測スケールを使用した緩和照射回数の検討』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院放射線科では、予後予測スケールと緩和照射回数の関連性を分析することで予後予測スケールが緩和照射回数決定の一材料として有用となりうるかを検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、症状緩和目的で放射線治療を受ける患者さんの治療目的の達成および、治療後の患者さんの QOL を高めることにつながると考えています。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2019年2月～2019年8月 東邦大学医療センター大橋病院放射線科において、がんの診断で症状緩和目的にて放射線治療を受けた患者さん(約50例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データと予後予測スケール結果を分析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院放射線科放射線治療室

職位・氏名 助教 吉田 匡宏

電話 03-3468-1251 内線 3073